

(事例62) 54歳男性、製造業、糖尿病悪化・治療優先のための休業措置

類型	症候	疾患
2, 3	1. 高血糖	9. 糖尿病

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 54歳、男性  2) 業種、作業内容 美容家電製造業、デスクワーク、常日勤		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 糖尿病 (HbA1c 高値)		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 要休業		
4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など) 数年前より治療導入されていたが、前年度に HbA1c が 10% を超える値を示し、 主治医の指示のもとしっかりと治療を継続することを指導、改善報告を受けていた。 しかし翌年、再び 9.6% と高値を示したため、コントロール不可と判断。治療を優先して もらうため要休業の措置意見を出した。		
5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可)  ② 企業リスクが予見されたため (交通事故、公衆災害の発生など) ③ 健康管理を促進するため (受診、治療を強く進めるため)		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください  この方にしかできない業務内容に関する引継ぎ・調整に時間がかかったため、 実際の就業制限実施までに数日間を要したこと。		